

## 式辞

例年になく大雪に見舞われた冬に終わりを告げ、大沢野の大地に梅の香りを運ぶ風が、春の訪れを思わせる今日のおき日に、保護者の皆様のご臨席を賜り、第38回卒業証書授与式を、厳かに挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

皆さんと出会ったのは、3年前、平成30年（2018年）4月6日 金曜日の午後に行われた入学式でした。皆さんは、真新しい制服に身を包み、とても緊張した初々しい姿でした。

入学式の式辞では、「初心忘るべからず」「三年先の稽古」「継続は力なり」という言葉を伝えたのを覚えているでしょうか。あれから約3年、1,077日の歳月がたちました。

皆さんは、1年生では「全部全力 黄金時代への扉を開こう～Z計画～」という学年目標を掲げ、先輩たちに助けられながら、全力で1年間を過ごしました。

2年生では、年号が令和に変わったことから、「励和～黄金時代へ～」の学年目標を掲げ、『14歳の挑戦』や金沢校外学習、部活動などで活躍し、黄金時代を築こうと頑張ってくれました。

3年生になった今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、3年生が始まってすぐに、5月末までの臨時休業となってしまいました。学校が再開されてからは、「DREAM STEP ～仲間と共に黄金時代を駆け抜ける～」を目標に頑張ってきました。

修学旅行が中止になり、夏休みが短縮され、体育大会や学園祭が半日になり、部活動の大会が交流大会になりました。しかし、そんな中でも、体育大会に全力で取り組み、合唱コンクールでは素晴らしい歌声とハーモニーを響かせ、修学旅行代替旅行ではしっかり学び、しっかり楽しむ姿を見せてくれました。皆さんと行った1泊2日の修学旅行代替旅行は、例年と違う厳しい条件の中だっただけに、より一層、思い出深いものとなりました。ナイトゴンドラで一緒に見た風景は、一生忘れられないでしょう。

皆さんは、最上級生として、たくましく、頼りがいのある姿で、黄金時代を駆け抜けてくれました。その姿は、下級生の心に強く焼き付いています。下級生は、きっと、その姿を伝統として受け継いでくれるでしょう。

皆さんが生まれてからのこの15年間で、社会は大きく変わりました。スマートフォンが普及し、様々なメディアが拡大し、SNSが欠かせなくなりました。街並みは大きく変わり、交通網も発達しました。科学技術も日に日に進歩しています。今後はさらに変化が加速し、日本は人口減少、少子高齢化、人工知能（AI）の進化による社会の変化、国際化が進みます。その変化は、3年後の姿も想像がつかないほどです。その上、気候、地震などによる大災害や、新型コロナウイルス感染症のような未知の感染症に見舞われる可能性もあります。

皆さんはそれらを乗り越えて、日本や世界を担う存在とならなければなりません。社会の変化に翻弄され、道を見失ってしまうことなく、しっかりと一步一步、歩いていってください。

さて、皆さんには折に触れ、次のようなことわざや名言を贈ってきました。

「初心忘るべからず」「継続は力なり」「三年先の稽古」「切磋琢磨」「ちりも積もれば山となる」

「千里の道も一歩から」「失敗は成功のもと」「雨降って地固まる」「けがの功名」

「七転び八起き」「ピンチをチャンスに変える」「災い転じて福となす」「有言実行」「不言実行」

「明けない夜はない 止まない雨はない 過ぎ去らない嵐はない」「マスクの下は笑顔で」

「凡事徹底」「時を守り 場を清め 礼を正す」「有終の美」 などです。

卒業にあたって、最後にもう一つ言葉を贈ります。

それは、「笑門来福」です。これは、「笑う門には福来たる」ということわざです。卒業アルバムにも掲載しました。

新型コロナウイルス感染症対応で、「マスクの下は笑顔」という言葉も伝えましたが、「笑顔」は、自分も周りの人も幸せにします。「楽しいから笑うのではない 笑うから楽しいのだ」というアメリカの心理学者の言葉もあります。「笑顔」は幸せホルモンを分泌させ、人を前向きな気持ちにさせてくれます。苦しいときほど「笑顔」で乗り切り、幸せな人生を送ってください。

今日は、「笑顔」で保護者や家族の皆さんに感謝の気持ちを伝えてください。

保護者の皆様。3年前に、真新しい制服に身を包み、この体育館で入学式を行ったお子様が、3年間で心身ともに大きく成長され、卒業証書を手にする姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと存じます。心よりお祝い申し上げます。

中学生という多感な3年間は、いろいろな出来事があり、喜びや苦労があったはずですが。皆様は、どんな時も、深い愛情でお子様を支えられ、学校へも温かいご理解とご支援を頂きました。教職員を代表して深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

地域及び、学校関係者の皆様。本日はPTA会長 永瀬様、教育振興会会長 平野様のみのご臨席となってしまいましたが、今まで大きなご支援、ご声援をいただき、ありがとうございました。今後も、地域の宝である卒業生を見守っていただきますようお願いいたします。

卒業生の皆さんは、感謝の気持ちを忘れず、地域の一員としての役割を果たしてください。

以上、174名の皆さんの前途に、「幸多かれ！」と祈り、式辞といたします。

令和3年3月17日

富山市立大沢野中学校

校長 山木 恵一